

Edo

2024

9.14 - 11.10

2024年9月14日(土)～11月10日(日)

前期= 9月14日(土)～10月14日(月祝)

後期=10月17日(木)～11月10日(日)

※前後期、すべての作品を入れ替えます。

UTAMARO, HOKUSAI, JAKUCHU, SHOHAKU, SHUKI...

The fascinating Tekisuiken collection - the geniuses of Edo painting



歌麿、北斎、若冲、
蕭白、秋暉...

江戸絵画の奇才たち

魅惑の滴水軒コレクション
北日本新聞創刊140周年 富山県水墨美術館開館25周年記念

開催時間／午前9時30分～午後6時(入室は午後5時30分まで)※初日は、開会式終了後に一般オープンとなります。

休館日／月曜日(ただし9月16日、9月23日、10月14日、11月4日は開館)、

9月17日(火)、9月24日(火)、10月15日(火)、10月16日(水)、11月5日(火)

主催／富山県、滴水軒名品展実行委員会(富山県水墨美術館、北日本新聞社)

監修／安村敏信(美術史家、北斎館館長、静嘉堂文庫美術館館長)

特別協力／公益財団法人滴水軒記念文化振興財団 協力／千葉市美術館、府中市美術館

協賛／医療法人財団五省会、東亜薬品、中曽根造園、日東メディック、ユニゾーン、リードケミカル(五十音順)

■作品(すべて部分) [前期] 歌川広重 湯上り美人図 / 歌川豊国 立美人と若衆図 / 喜多川歌麿 嶋台持ち樂立姿図 / 抱亭五清 粧い美人図 / 菱川師宣 元禄若衆図 / 千葉市美術館寄託
司馬江漢 月下美人図 / 安田雷洲 鷹図 / 府中市美術館寄託 [後期] 鳥文斎栄之 立美人図 / 岡本秋暉 芙蓉孔雀図 / 勝野范古 柘榴小禽図 / 川又常行 阿古屋の三曲図 / 歌川国芳
文誌美人図 / 宮川一笑 花魁と売歩行図 / 鈴木春信 見立玄宗皇帝楊貴妃・浴後の母子図 / 千葉市美術館寄託 無款 伊勢物語図・滴水軒記念文化振興財団蔵

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

Edo

歌麿、北斎、若冲、蕭白、秋暉...

江戸絵画の奇才たち 魅惑の摘水軒コレクション

UTAMARO, HOKUSAI, JAKUCHU, SHOHAKU, SHUKI...

The fascinating Tekisuiken collection- the geniuses of Edo painting



1



2



3



4



5



6



7



8



9

[前期] 1.喜多川歌麿 崎台持ち娘立姿図
3.歌川広重 湯上り美人図
6.勝川春幸 達磨と美人図
9.二代戴斗 若衆図
[後期] 2.岡本秋暉 百花一瓶図
4.曾我蕭白 竹に鶏図
5.鳥文斎栄之 立美人図
7.宋紫石 鶺鴒辛夷図
8.鈴木春信 縁先美人図
所蔵=7のみ摘水軒記念文化振興財団
他すべて千葉市美術館寄託

豊かな文化が大きく花ひらいた江戸時代。約260年続いた太平の世の中で、人々の暮らしは大きく変化しました。美術の世界でも、武家の社会を後ろだてとした御用絵師たちが活躍する一方、経済的にうたった町人社会では、生命力にあふれた新しい表現が次々と生まれました。多彩な文化が、武士と庶民、それぞれの社会で豊かに育まれていったのです。

今回の展覧会では、千葉県柏市の摘水軒記念文化振興財団の所蔵作品100点を紹介します。江戸時代、水戸街道に面して旧柏村に開設された私塾(文化サロン)「摘水軒」で交友のあった知識人や文人墨客が残した作品をはじめとする摘水軒コレクションには、おかもとしゅうきをはじめ、菱川師宣、鈴木春信、喜多川歌麿、歌川広重、葛飾北斎、伊藤若冲など江戸期の著名な絵師たちの作品がそろっています。この貴重なコレクションが首都圏以外でまとまって公開されるのは、初めての機会となります。江戸時代を代表する肉筆浮世絵のはじまりから黄金期に至るまで、さらに多彩な表現の広がりを見せる花鳥画など、奇才たちの競演をご堪能ください。

関連行事 ※申し込み不要 ※聴講無料

■対談

「コレクションの独自性と江戸絵画にハマるまで」

10月18日(金)午後2時から

寺嶋哲生氏(公益財団法人摘水軒記念文化振興財団理事長)

安村敏信氏(本展監修者・北斎館館長・静嘉堂文庫美術館館長)

会場=映像ホール 定員=70名(先着順 開場午後1時30分)

※満席になり次第、入場を制限させていただきます場合があります。

※当日有効の本展観覧券が必要です。

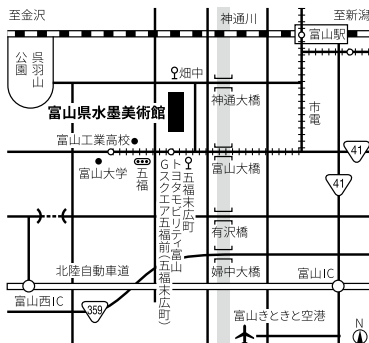
■担当学芸員によるギャラリートーク

9月28日(土)、10月26日(土) 各日午後2時から

会場=展示室1・2

※当日有効の本展観覧券が必要です。

※その他の関連行事の実施については、富山県水墨美術館のウェブサイトやSNS、北日本新聞でお知らせします。最新の情報をご確認の上、ご来館ください。



富山県水墨美術館
〒930-0887 富山市五福777
tel.076-431-3719
fax.076-431-3720
https://www.pref.toyama.jp/1738/

@suibi_official
@suibiofficialHP
@suibiofficial

観覧料= 一般 1,500(1,200)円 前売一般 1,200円
大学生 1,200(1,000)円 前売[前後期]セット 2,000円

※()内は20人以上の団体料金。※この料金で常設展も観覧できます。
※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。
※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方の観覧は無料です。
※リピーター割 総合受付にて本展半券(招待券及び無料の観覧券をのぞく)の提示により、1枚につきお1人様団体料金

[前売券販売所]9月13日まで販売
富山県水墨美術館・富山県美術館・アーツナビ(富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール)、
北日本新聞社本社・西部本社・各支社、販売店、富山大和、BOOKSなかだ、文苑堂書店、明文堂書店、
セブンチケット(コード106-451)、ローソンチケット(Lコード55529)
※プレイガイドによっては、別途手数料がかかる場合があります。
※「前売[前後期]セット」券は一部取り扱っていない店舗があります。

常設展示= 近代水墨画の系譜・下保昭作品室 ※企画展の観覧券でご覧いただけます。

館内施設= 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) ※土日祝日の午前11時〜午後4時に営業。
ミュージアムショップ「風花」

次回企画= 卒寿記念 人間国産 鈴木蔵の志野展 11月22日(金)〜2025年1月19日(日)

交通案内= [富山駅南口から] ■市内電車(大学前行き)「トヨタモビリティ富山Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 ■地鉄バス③乗場から
小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分/⑦乗場から四方・新桜谷町・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩約10分 ■タクシー約
10分 [富山空港から]タクシー約25分 [北陸自動車道]富山IC、富山西ICから自動車約20分 [無料駐車場]乗用車165台、バス7台

THE SUIBOKU MUSEUM TOYAMA
富山県水墨美術館